

(一社) 東京都トラック協会青年部・(一社) 大阪府トラック協会青年部会
意見交換会 実施報告

1. 日時 平成28年7月30日(土)
2. 場所 「大成閣」(大阪区中央区)
3. 参加人数 東京: 16名 大阪: 21名
4. 内容

(1) 大阪の田中副部会長が司会を務め、開会の挨拶を行い、大阪の谷部会長、東京の結城本部長の順で、各組織代表が挨拶を行った。

(2) 意見交換会の概要

第1部: 自社PR

※1テーブルにつき7名×5テーブルに分かれて実施。

※1人につき、各社紹介5分、質疑2分で全員行う。なお、各社紹介は事前に提出して頂いた「自社PR表」をもとに実施。



第2部：テーブルディスカッション

※テーマはA・C・Eテーブル「青年部会の今後の活動に期待すること」

B・Dテーブル「労働力不足の現状と対策について」

※東京の山本副本部長が議論を促すきっかけづくりの発題を行った。

※30分間意見交換した後、各テーブルの代表者が前に出て発表。

(4) テーブルディスカッションの発表内容

①「青年部会の今後の活動に期待すること」

(発表内容)

- ・やはり、ヒューマンネットワークが重要。
- ・今回のような会に参加して、横のつながりを築き、仕事だけでなくいろんなことについて腹をわって話しあえるのがよい。
- ・東ト協が50周年で、トラックフェスタを開催。準備・運営については、青年部が頑張っていないといけない。
- ・青年部がブランドになるくらいの会になれば良い。現在は、積極的に勧誘を行っているが、入っていない人のほうから入らせてほしいと言われるくらいになる。青年部に入ると自分を高められる、これだけのことが得られるという会になったら良い。
- ・貨物運送事業を花形の産業に上げていきたい。そのためには、今回のような定例会を続けていき、課題等を共有し、また、同じ悩みを分かち合いながら、10年・15年先を見て物事を考えていきたい。
- ・東京は4月に家族会を開催。父親・夫がどんな仕事をしているのか、家族に理解して頂こうという活動も良いのでは。
- ・青年部会というものが、現場の方から遠い存在のイメージが強いので、現場の方がもっと情報交換できるような活動をして頂けると有難い。(社長の代理で出席の方より)

【東京からは岩田研修委員長、中西広報委員長が発表】



②「労働力不足の現状と対策について」

(発表内容)

- ・ドライバーが喜ぶことを行う。新車の戦略的な導入、架装に工夫をしたり、車両美化をしっかりと行う。また、他社のドライバーが見たら、その方が退社される時に目に留まって来てくれる可能性もある。
- ・新規雇用に関しては、ドライバー・従業員からの紹介。
- ・給与水準を既存の従業員より10%増で募集。配車の効率化や荷主を変えたり、準備期間は一定程度(2年間くらい)を要する。また、今働いているドライバーにインセンティブ制度を用いて、連れてきた方がどれくらい定着したかにより、ポケットマネーで支払う。
- ・自社のHP作成、SNS対策。更新を定期的に行う。また、更新に関しては、男性より女性の観点で行うのが良いのでは。
- ・トラガール:女性登用をしっかりとやっていけないといけない。負けず嫌いの方が多く、総じて優秀な方が多い。現場での優位性もある。(現場によっては、待ち時間が短くなること等もある。)女性ができる仕事を増やしていく必要がある。
- ・20代については、我々もわからないので、どういうふうに対処していけば良いのか考えていけないといけない。

【東京からは、佐藤総務委員長が発表】

